

前年度の成果と課題	教育目標	心身共にたくましく、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成			総合評価
○新型コロナウイルス感染症拡大が続く中での学習活動を保障していくための学習計画を立てられた。 ○いろいろな面で、少しずつ新型コロナウイルス感染症対応から、本来の学習活動に戻していくことを考えていかなければならない。 ○GIGAスクール構想を取り入れた学習を継続して、さらに推進していく。 ○プログラミング学習の研修をさらに重ねていく。 ○コミュニティ推進委員会など、地域の方との活動を広げていく。	運営方針 合言葉である「(志)しっかり(都)ずっと(美)みんな」を具現化に努め、元気な挨拶と明るい笑顔のあふれた学校づくりを目指す。				B
	本年度の重点目標 教職員相互の信頼と協力に基づいて絶えず研修を積み重ね、活気に満ちた学級・学校づくりに努める。				
	学校・家庭・地域との連携協力を密にしながら、保護者・地域住民の信頼に応える教育活動を展開する。				
	児童の実態をふまえ、基礎的・基本的な内容の確実な定着と確かな学力の育成を図る。				
	道徳的心情と正しい判断力を育み、よりよき規範意識を樹立、情操の陶冶、自主的行動の啓培に努める。				
	「人権」「生命の尊厳」を柱に、差別に対する正しい見方、考え方を培い、差別に立ち向かう意欲と実践力を養う教育を推進する。				
	児童の自主性を伸ばすとともに、実践力を高めるための体験活動を重視した教育活動を推進する。 特別支援教育の在り方を正しく認識し、一人一人の児童の実態を把握し、児童の可能性を最大限に伸ばす取組を個別指導計画の中に正しく位置づけ、指導体制を確立する。 自他の生命の安全に留意し、健康でたくましい心身を育てる保健・安全・体育的指導に努める。				
学校経営	評価の観点	評価	成果と課題(評価の分析)	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
教育目標 学習指導要領や「学校教育の指導方針」等を踏まえた教育目標や経営方針を設定している。 経営方針 目指す学校像・児童生徒像・教師像を具体的な姿で示している。 学校の特色や前年度の課題を踏まえた重点目標等を設定している。 学校運営や教育活動を構造化・体系化してグランドデザイン等に示している。 経営方針や重点目標等を教職員が共有している。 重点目標等を学校だよりやホームページ等で児童生徒保護者・地域住民等に発信している。	A	B	教育目標や経営方針を適切に設定している。コロナ後の工夫をしながら、学習指導要領の実施をおこなった。 教育課程を教職員に示し、理想の児童像を再確認した。(グランドデザインにも明記。)	○香芝市教育委員会からの令和6年度香芝市学校教育の指導の重点をもとに、本校の課題を克服できるような取組をおこなっていく。 ○今年度おこなった行事を踏まえて、来年度に合った行事の組み立てを考えていきたい。 ○GIGAスクール構想等、新しい学校運営がさらに考えていく。 ○「志都美っ子マ-7カ条」を掲げて、児童像の育成に努めている。さらに「志都美っ子マ-7カ条」の運用を続けていく。 ○校務分掌で対応できないことがあったところを検討し、その場に合った役割分担も適時考えていくようにする。	○コロナ後の年度であったが、さまざまな取組を進められていた。 ○児童と交流する機会が増えた。来年度はさらにいろいろなことができることを楽しみにしている。 ○学校と家庭と地域が一体となって、活動、協働できればよい。地域の動きを保護者の方にもっと知ってもらえるとよい。
	B		課題と重点目標を確認し、取組を進めてきた。		
	B		学校運営や教育活動をグランドデザインに組みこみ、取組を進めた。児童像を描き、努力を続けている。		
	B		機会があるごとに、共通理解を図っている。(職員会議や研修及び終礼等)		
	B		校長室だよりを発信することで、保護者・地域住民に知らせることができた。		
	B		コロナ禍での対応もいしながら、学習活動において、今年度の取組を進めた。		
重点目標 児童一人一人に基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、自分のよさを発揮し、意欲的に学ぶ児童を育成する。 人権尊重の精神に徹し、差別に対する正しい見方・考え方を培い、差別に立ち向かう意欲と実践力を養うと共に、豊かな心を育て、自他共により良く生きる道徳的実践力を培う。 「あいさつ運動」や「聴く話す活動」等を通してコミュニケーション能力を育み、よりよい人間関係の構築に努める。 体育的活動の充実や運動遊びの奨励を図ると共に、安全教育・食育の充実を図る。 学校・地域パートナーシップ事業の推進と学校サポート体制の構築を図る。	B	B	日頃より人権意識を高めることに努め、成長段階に応じた人権感覚を磨くことができていくように心がけた。	○学習活動や学習内容の工夫をさらに進めていく。 ○人権意識を高め、いじめや差別を許さない人権意識を構築することに引き続き努める。また、児童との関係を築き、いじめのない環境づくりに努める。 ○地域の方々のつながりを確認し、連携を図り、支援や協力をしていただけるような環境づくりを心がけ、進めていく。	
	B		本来的志都美っ子らしい、声を出しての明るい挨拶が少しずつできるようになっている。さらに取組を進めていく。		
	A		安全教育や食育について年間計画に位置づけ、児童についての研修をする機会をもつことができた。		
	B		今年度もいろいろな学校サポートをしていただくことができていた。ボランティアの方々にお世話になった。		
組織運営 校務分掌 学校の課題や今日的な教育課題に対応するための組織づくり、具体的に取り組んでいる。 企画(運営)会議や学年会議、分掌会議を定期的に行い、組織的な運営を進めている。	A	B	終礼等、職員の共通理解を心がけ、校務分掌をもとに、事業に即した校内委員会を活用し、対応や解決に努めた。	○校務分掌や会議の在り方を考えていく。可能なところでの工夫が必要である。より効果的、効率的に活動できる校務分掌にさらに近づけていきたい。 ○働き方改革のもと、会議の効率化を進めるための工夫をしていく。	
	B		昨年度よりも企画会議を開催できたが、なかなか時間の確保ができていなかった。		
学校評価 学校評価委員会等を設置し開催している。 学校全体で組織的に学校評価を推進している。 学校評価の推進計画を作成し、計画的に推進している。 本年度の重点目標等の達成に向けた具体的な目標や取組を評価項目として設定している。 児童生徒や保護者等を対象としたアンケート(授業評価を含む)を自己評価に適切に活用している。 保護者を含めた学校関係者評価委員会を設置し開催している。 自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施している。 学校評価をツールとして活用し、学校改善が進んでいる。 保護者や地域住民等に自己評価の結果を公表している。 保護者や地域住民等に学校関係者評価の結果を公表している。	B	B	年に5回、学校運営協議会を開催できた。学校の方針や現状を報告し、ご意見をいただいた。運動会、授業参観を見ていただくことができた。	○アンケート等の方法や実施時期について、再確認する。 ○学校評価の結果を活用し、保護者と教職員が共通理解できるようにしていく。	
	B		年度末には、教職員の間で総括会議をもち、来年度の課題を探った。		
	B		学校評価は年間計画に位置づけられているが、まだ徹底できていない。さらに評価の仕方や時期等、整理が必要である。		
	B		評価項目の見直しについては、重点目標を確認し、おこなうことができた。		
	A		アンケートを方法を改善し、取り組むことができた。		
	B		P T Aの方や地域の方を含め、ご意見や評価をいただくことができた。		
	A		学校や児童の様子、課題等を報告して、現状の問題点や来年度への課題を共通認識できた。		
	B		各行事ごとに振り返りシートを配布し、成果や課題を出せた。年度末に総括会議をおこなった。		
	B		校長室だより、ホームページにより発信していく。		
教育課程 学校や地域の実態及び児童の特性を踏まえ、主体的・創造的に活動できるような教育課程を編成している。 授業時数の点検を定期的に行い、年間授業時数の確保に努めている。	B	B	個別の支援を必要とする児童に対して、さらに対応できるようにしていく。	○個別の支援を必要とする児童の対応を学校全体で考え、取り組んでいく。 ○授業の進行状況や授業時間の確保について、確認しながら進める。	
	A		授業の進行状況や授業時間の確保を意識して授業をおこなうことができた。		
地域連携 地域住民や保護者と連携・協働して、課題解決に向けて取り組んでいる。 保護者や地域住民等に対して、地域連携の取組を情報発信している。	A	A	保護者や地域の方が来校しての会議の開催をおこなうことができるようになった。	○回覧板やメール配信の活用を工夫し、自治会長、地域安全推進委員、民生委員、P T Aの協力体制をさらに確立できるようにしていく。 ○コミュニティスクールについては、今年度の活動をもとに取組をさらに進めていく。	
	A		校長室だより、ホームページにより発信していく。		
危機管理 公文書や個人情報の管理や保護を適切に行っている。 危機管理マニュアルを作成し、共通理解している。 食物アレルギー等を有する児童生徒に対して、指導体制や緊急対応の体制を整えている。	B	B	公文書や個人情報の保管場所を設け、担当者が保管及び管理をおこなっている。	○公文書や個人情報について、定期的に管理や保管について確認をする。 ○校内の破損や修理を必要とするところの把握に努め、迅速に対応し、児童の安全確保に努める。 ○アレルギー等を含む個人情報の共有を教職員の間でおこない、扱いには注意を払う。	
	B		年度当初に全職員で確認し、対応できるように、普段から緊急時マニュアルを活用しやすいところに置き、意識できている。		
	A		教育委員会の指導のもと、個別の指導表を作成し、慎重かつ適切に進めている。また、校内でも情報を共有している。		

評価はA・B・C・Dの4段階

令和5年度 学校評価表【Ⅱ】 香芝市立志都美小学校

教育活動	評価の観点	評価	成果と課題（評価の分析）	次年度への課題と改善策等	学校関係者評価
学習指導	学習指導要領に基づき、教育目標等を踏まえた各教科等の年間指導計画を作成し、活用している。	B	プログラミング学習を取り入れ、各学年・各教科で取組をさらに進められた。	○今年度までの取組をいかして、プログラミング学習の研修をさらに進めていく。 ○教職員のICT機器のスキルアップがさらに必要である。 ○児童との対話を引き続き大切にしていく。	○クロームブックの活用が進んでいるように感じる。 ○縦割り班での活動は、学年を超えた動きができていてよい。さらに続けてほしい。 ○今年度をもとにして、年間を通しての行事も考えていくとよい。
	基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それらの活用を図る具体的な取組を計画的におこなっている。	A	低・中・高学年部で研修をもち、指導の計画を工夫して進めている。学力向上につながっている。		
	指導方法や学習形態の工夫をし、児童が集中して取り組む授業をおこなっている。	A	校内研修では、研究主題と位置づけ、プログラミング学習に取り組んだ。クロームブックの活用をさらに進められた。		
	体験的な学習や課題解決的な学習等、児童が主体的に取り組む学習をおこなっている。	B	体験的な学習の実施ができるようになってきた。各方面において連携し、活動をさらに進めていく。		
	各教科等の評価規準を作成している。	B	普段の授業や活動で、児童の評価をこまめにおこなうようにしている。		
	授業における児童の学習状況を適切に評価し、指導に活かしている。	A	学習中の児童の気づきを大切に、ノート点検や家庭学習の点検をていねいにおこなっている。		
学習意欲	児童の学習の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	A	香芝市指定研究事業を進めることで、児童の学習や学力の弱点を分析し、研修をもち、	○引き続きプログラミング学習を各教科に取り入れていくようにしていきたい。 ○児童の学習意欲を高めることにさらに努めたい。	
	学習意欲向上のために、教科等において具体的な取組をおこなっている。	A	学習調査の結果等から、無解答をなくすことについて取り組んだ。また、プログラミング学習を各教科に取り入れていくように取り組んだ。		
	家庭での学習習慣の定着に向けた具体的な取組をおこなっている。	A	学級通信を積極的に発行して、家庭学習について働きかけをおこなった。家庭学習の手引きを作成、配付し、啓発をおこなった。		
生徒指導	児童の実態について共通理解し、教職員が連携して、組織的・継続的に指導する体制を整えている。	A	子どものことを出し合う研修を毎学期に設け、共通理解を図っている。職員打ち合わせや終礼等、変容のあった事象について報告し、共通理解をおこなった。	○保護者や地域の方々との連携を工夫しながら進めていく。 ○学校安全等について、再度点検と見直しをおこなう。 ○起こりうる事象を想定し、迅速かつ的確な対応ができるように、定期的に体制を点検していきたい。 ○児童の状況を常に把握することを意識し、定期的に確認する。校内委員会の活用や関係機関との連携も視野に入れながら取り組んでいく。	
	指導や支援のできる教育相談体制を整えている。	A	スクールカウンセラーや関係機関とも連携を図っている。		
	家庭や地域、関係機関等との連携・協力体制ができてきている。	B	児童の実情に応じて、保護者と連絡を取り合った。学校から保護者への連絡を密にし、職員間でこまめに共有するようになった。		
規範意識	児童の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	B	児童の変容に注意し、教職員間で情報交換をおこなうことができた。	○児童に志都美っ子7カ条を意識させ、週目標に位置づけて引き続き指導を続けていく。 ○職員間で積極的に情報交換をおこなう。定期的にその機会をもち、共通理解をおこなう。	
	課題解決に向けて、具体的な取組を行っている。	B	志都美っ子7カ条を校舎内に掲示したり、日常的に啓発したりしている。週目標に位置づけて指導を続けられている。		
	いじめに関して実態を把握するとともに、教職員が共通理解の下、いじめの防止・指導に取り組んでいる。	A	年2回のアンケート調査をおこない、現状の把握に努めた。また、アンケートから積極的に聞き取りをし、事案の解消に努めた。また、日頃から児童観察に努めている。		
	規範意識を高めるために、保護者や地域住民、関係機関等と連携して取り組んでいる。	B	挨拶のできる児童の育成を目指し、いろいろな場面で意識づけをおこなっている。		
道徳	道徳教育の全体計画を作成し、活用している。	A	各教科や学年とのつながりを工夫できている。	○全校登校日の平和学習は、引き続き実施していく。 ○ジェンダーに関する学習も取り入れていく。 ○低中高のブロックでの共有をできるようにする。	
	道徳教育を推進するための体制を整え、具体的な取組をおこなっている。	B	今年度も、水曜日1時間目を道徳の時間に設定し、1年間を通して取組を進められた。		
特別活動	特別活動の全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画を作成し、活用している。	A	カラフルタイムやドリーム集会等を年間計画の中に位置づけ、工夫しながら実施した。児童会活動やクラブ活動、委員会活動も工夫して実施できた。	○縦割り活動が効果を上げている。学年を超えた児童間でつながりができている。地域の方や保護者からも好評である。さらに充実させていきたい。 ○校外学習や野外活動、修学旅行は、今年度の実施をもとに進めていく。	
	自然体験や社会体験等の体験活動を計画・実施している。	A	校外学習や野外活動、修学旅行は予定通り実施できた。		
人権教育	児童や地域の実態を踏まえ、県の「人権教育推進プラン」に基づいて人権教育推進計画を作成している。	B	人権教育推進計画をもとに取組を進めることができた。人権教育教材を活用できた。	○人権問題を取り上げ、さらに学習していく。差別や偏見に負けない心等、人権学習を深めながら、正しい人権意識を児童にもたせたい。	
	児童・保護者の人権意識を高める多様な取組を計画・実施している。	B	さまざまな人権問題を取り上げ、学習できた。差別や偏見に負けない心等、人権学習をさらに進めていく。		
特別支援教育	特別支援教育推進計画等を作成している。	B	特別支援教育推進計画を年度当初に作成し、会議で提案し、職員で共通理解を図った。「すまいるノート」の活用を図った。	○支援を要する児童に重点を置き、教職員全体で取り組んでいく。 ○日々の生活において、特性をもつ児童の現状把握に努め、研修や会議等で共通理解を図る。 ○ケース会議を定期的に行い、児童の現状を確認する。早期対応できるようにする。	
	特別支援教育を推進するための組織を整備し、具体的な取組をおこなっている。	B	年3回の研修をもち、支援を要する児童の把握や対応に心がけた。必要に応じて校内委員会を開き、関係諸機関との連携もできた。		
キャリア教育	キャリア教育の全体計画を作成している。	B	各学年で、キャリア教育の内容の学習をおこなっている。	○各学年の計画をたて、積み重ねたものを連携できるようにする。	
	児童のキャリア発達につながる体験的な活動を計画・実施している。	A	発達段階に応じた学習内容を加え、それぞれの学年に適した学習を工夫して進めた。		
健康安全	学校保健・安全計画を作成している。	A	学校保健年間計画や学校安全教育年間計画を作成し、これをもとに進めている。	○保健面も安全面も、計画を立てて活動している。さらに工夫をしていきたい。 ○火災や地震についての避難訓練を続ける。 ○縦割り清掃、学級清掃ともに、さらに充実したものにしていく。	
	薬物乱用や喫煙の防止、性教育、交通安全等に関する指導をおこなっている。	A	性教育年間指導計画を作成し、実施可能な範囲で計画的に進めた。薬物乱用防止教室を開催できた。		
	健康相談、保健指導を適切におこなっている。	A	定期的に身体測定をおこない、児童の成長を把握している。その際に、保健指導も並行して実施している。		
	避難訓練や安全意識高揚のための取組を計画・実施している。	B	火災や地震についての避難訓練を年3回実施できた。ならシェイクアウトも実施できた。		
	校舎、校庭等の環境美化や清掃活動に力を入れている。	A	縦割り清掃、学級清掃でワイパーぶきを徹底している。換気が心がけられることができた。時間いっぱい、熱心に掃除ができる児童が多い。		
食育	児童の食生活の実態を踏まえた食育推進のための計画を作成し、具体的な取組をおこなっている。	B	給食担当職員を中心に、市内の栄養教諭と連携しながら、食物アレルギーをもつ児童の安全管理を徹底しておこなっている。	○教育委員会や委託業者と連携をとって、子どもたちの安全を守っていく。 ○アレルギー対応は全職員で研修をもち、児童の現状把握に努める。	
	児童・保護者の食に関する意識を高める取組をおこなっている。	B	給食中の放送で食育の話に触れたり、1年生に給食説明をしたりできた。		
読書活動	全校一斉の読書活動など、読書活動を推進する取組を行っている。	A	毎週水曜日の業前に、読書タイムを継続して実施できた。図書ボランティアさんに読み聞かせをしていただくことができた。	○図書ボランティアの方に来ていただき、絵本棚を五十音に整理していただいたり、飾りつけをしていただいたりして、図書室をさらに整備することができた。連携を図りながら、児童の読書活動を推進していく。	
	学校図書館が読書活動や教科指導等において有効に活用されている。	A	各学年で週に一度の図書室利用日を設定し、図書室の利用を推奨している。昼休みの利用も推進した。		
体力向上	児童の体力の実態を分析し、全教職員で課題を明確にしている。	A	今年度も体力テストを実施し、結果や考察を報告できた。デジタル機器についてのアンケートを取り、考察ができた。	○来年度も今年度に準じて、体力テスト、運動会、かけ足等、工夫して実施していく。 ○児童の体力を向上させたり、運動への意識づけができたたりするような取組をさらに取り入れていく。	
	体育科の授業で、課題解決に向けた具体的な指導計画を作成して取り組んでいる。	A	体力テスト、運動会、かけ足等、工夫して実施した。今年度は、マラソン大会、なわとび集会も実施できた。		
	体育科の授業以外で、課題解決に向けた具体的な取組を計画して取り組んでいる。	A	運動委員会の企画（ボール投げなど）で、児童への体を動かすことの意識づけができた。		
研修・研究	研究主題及び研究内容・方法を明確に示して取り組んでいる。	A	年度当初に主題等を設定し、研修をおこなった。一年間学校全体で取り組むことができた。	○これまでのプログラミング学習についての取組をいかし、研修をさらに重ねていく。 ○今年度同様、研究授業を効果的に実施していく。	
	全ての学年で授業研究を計画・実施し、授業改善に全校体制で取り組んでいる。	A	今年度の研究主題を定め、各学年で取り組んだ。研修を推進するために、全体での研修も数回実施した。		
	今日的課題や学校の課題に即した研修を計画・実施している。	B	GIGAスクール構想に近づけるよう努力した。引き続き取組を続けていく。		

※評価はA・B・C・Dの4段階